

## ■著者紹介

中川 洋一（ナカガワ ヨウイチ）

大阪府生まれ。ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ・フランクフルト・アム・マイン大学 Ph.D。在ドイツ日本国大使館政務班専門調査員、立命館大学衣笠総合研究機構国際地域研究所客員研究員などを経験

現在、立命館大学産業社会学部講師

【専攻】：国際政治学、政治過程論。

【主要業績】：

（単著）“*Janus Germania?*“: *Das Leitbild der vereinigten deutschen Außen- und Sicherheitspolitik und ihre Veränderungen anhand des Fallbeispiels der Auslandseinsätze der Bundeswehr*” (Doktorarbeit, Johann Wolfgang Goethe Universität Frankfurt am Main, 2013).

（共著）田原憲和・木戸沙織編著『ルクセンブルクを知るための50章』（明石書店、2018年）。

（主要論文）“Changes in German climate and energy policy governances during the energy transition (*Energiewende*)”、『立命館国際地域研究』47号、2018年3月号、61～81頁。

「90年連合／緑の党の安保観の変容とそのドイツ対外安保政策への主導的意味」『ドイツ研究』第51号、2017年3月、91～108頁。

「2013年ドイツ連邦議会選挙の分析と連邦政治への含意」『年報政治学』2015年第1号、2015年6月、235～258頁 など。